

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-2		事業名	下水熱有効利用モデル事業
担当	環境局環境都市推進部エコエネルギー推進課 工藤 211-2872			
全 体 計 画				
事業内容	未利用エネルギーである下水処理水排熱を利用し、西区民・保健センターの暖房を行うことによって、二酸化炭素の排出量削減、省エネルギー・経費削減効果を検証する。		<年度別の事業内容>	
			平成18年度に屋内設備工事 平成19年度に屋外下水処理水引き込み工事を行い、運転を開始。 平成21年度までデータ収集、効果、課題等の検証を継続。(委託調査)	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	実証試験を開始した。		実証事業により効果、課題等の検証を行った。 信頼性・維持管理の向上のため設備の改良を行った。	
事業内容・規模・件数等	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	21年度も実証事業を継続し、効果、課題等の検証を行う。			

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-2-2			事業名	下水熱有効利用モデル事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
西区民・保健センターにおける二酸化炭素排出削減量		前システム比 47t削減	前システム比 約38t削減	前システム比 約50t削減	同左	前システム比 約50t削減	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 市ホームページ等で事業紹介</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 北海道電力(株)との共同研究契約を結んでおり、研究費は各々が負担している。 [人材協力] 上記契約により技術的な協力を得ている。 [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							
評価(成果)				課題			
<p>本市が目指すエネルギーを有効に利用する都市の実現に向け、これまで未利用であった下水処理水排熱の施設暖房利用の実証が可能となった。 省エネ、CO2削減についても当初想定していた効果が確認できた。</p>				<p>下水処理水を利用することによる設備面の課題も一部発生しており、本事業により検証・改善を行う。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>本事業により環境負荷削減効果などを実証したが、一般施設での下水処理水の利用を、さらに促進するためには、処理水供給・設備管理の体制や、利用する熱に対する費用負担など、制度や体制について整備が必要である。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-2-2		事業名	下水熱有効利用モデル事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	23,000	1,000	1,000	0	25,000	
	財源内訳	国・道支出金	9,000				9,000
		市の債	8,640				8,640
		その他の	360				360
		一般財源	5,000	1,000	1,000	0	7,000
予算	事業費	23,000	1,000	1,000	-	25,000	
	財源内訳	国・道支出金	9,000	0	0		9,000
		市の債	8,640	0	0		8,640
		その他の	360	0	0		360
		一般財源	5,000	1,000	1,000		7,000
実績	事業費	43,331	4,105	-	-	47,436	
	財源内訳	国・道支出金	21,000	0			21,000
		市の債	15,598	0			15,598
		その他の	6,733	0			6,733
		一般財源	0	4,105			4,105
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				193.7%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
<p>(全体) 事業費には建設局執行分も含まれている。</p> <p>[19年度] 詳細設計の結果、当初計画に対し工事費が増加した。また当初H18に見込んでいたNEDO補助がH19に交付された。(その他財源)</p> <p>[20年度] 他事業の予算を節約・流用し設備改修を行った。</p>							